



## 校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥  
令和元年10月30日  
☎55-2260 第7号

### 教育目標

ふるさとに誇りをもち  
夢と希望に満ちた  
心豊かでたくましい児童の育成



## 学芸会は年に一度の舞台表現の場

13日(日)に行われた学芸会ですが、台風の影響により日程を午後からに変更いたしました。足下の悪い中そして片付け等もある中で保護者の皆様や地域の皆様等、大勢の方々にお出でいただき、学芸会を実施できましたこと、本当に感謝申し上げます。

さて、月立小学校の学芸会は子どもたちにとって、年に一度の舞台表現の場です。この活動には「演ずる、表現する」・「観る」の二つの活動があることを押さえて実施しました。演じる、表現することは、自分の役割に向かって深く考えながら行動すること、お互いの個性や表現の違いを認め合いながら切磋琢磨し、友達と一つのを創り上げる一体感、また、活動過程は自然な形でのコミュニケーションなど、多くの意義があります。また、観ることは、受動的な活動ではなく、演じ手を自分に置き換えて、思い描き、立場を共有しその空間に参加する積極的な活動であると思います。

本校の学芸会のねらいを①学校生活を一層豊かにすること、②協働・責任などの社会的態度を育てること、③保護者の方や地域の方々などの学校に対する理解と協力を促進する機会とすること、の3つに置いて取り組んできました。練習や準備段階から、やる気を持って取り組む姿があり、「演ずる」・「観る」の二つの活動も十分に目標を達成できたと思っております。

そして、どの学年も、自分の持てる力を十分に発揮し、充実感のある発表会となりました。月立地区の皆様にはご来校いただき、子どもたちに励ましの拍手をおくっていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



また、当日は、PTAバザーに多数のご協力をいただいたこと大変感謝いたします。月立小学校PTA活動がより充実した活動になるよう、今後もPTA会長さんをはじめ保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 命の大切さを知ろう

言いつけを守ることで、命が助かります。

廊下を走って転んで頭を打てば痛い。ナイフで指を切れば血が出て痛い。どんな人でも痛さに違いがあっても「痛いと感じる」のは「生きている」からです。そして、私たちは喜怒哀楽(うれしい、腹が立つ、悲しい、楽しい)の繰り返しの中で、毎日人間として生きています。寂しいこと、悲しいこと、腹が立つことなどがあるから楽しい、うれしい、良かったなどと感じることができます。このような気持ちや心を持つことができるのは、自分以外の人と一緒に生活し生きているからです。

今、世の中には、「他の人のことを考えず、行動したり話をしたりして迷惑をかけたり心を傷つけたりしている人」や「人のいのち」を簡単に奪ったりしている人がいます。(言葉は、弾丸よりも強し)ということわざがあります。人が感じる「痛み」は「身体の痛み」だけではなく、「心の痛み」もあることを私たちは忘れてはいけません。この世の中で一番大切に尊いものは「自分の命」「他の人の命」です。